

# —引継ぎ可能なライセンス料の計算方法—

2015.09.18

WatchGuardのTradeup製品は、旧デバイスにライセンスの未使用期間が残っている場合未使用期間を新デバイスのライセンスに割り当てることができます。

以下は割当て期間の算出方法となりますので、概算期間算出の際にお役立てください。

※未使用期間分は新デバイスの登録時に自動で計算され、割り当てられます。

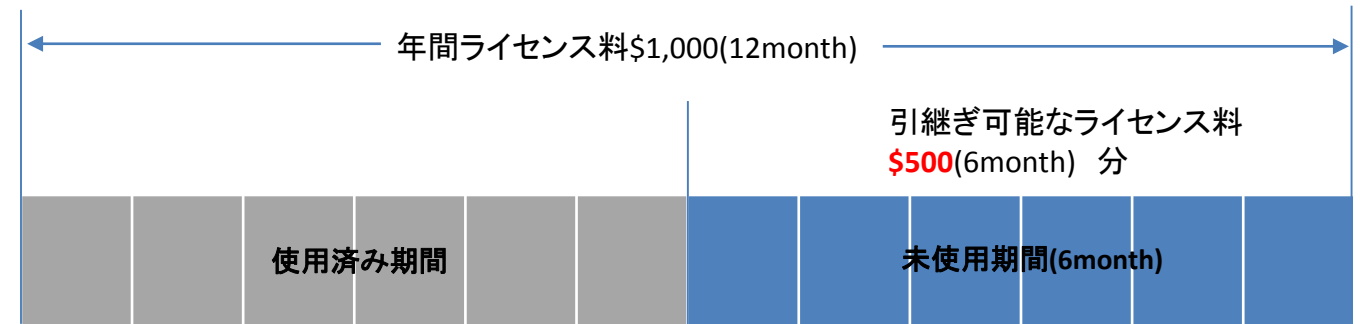
こちらの資料では参考として月単位で計算しておりますが、実際には日単位で自動計算される点ご承知おきください。

## ① 旧デバイスの引継ぎ可能なライセンス料を算出

算出方法:  $(\text{旧デバイス年間ライセンス料} \div 12\text{ヶ月}) \times \text{残月数}$

例: 年間ライセンス料が\$1,000/年  
未使用期間が6か月の場合

→  $(\$1,000 \div 12\text{ヶ月}) \times 6\text{ヶ月} = \mathbf{\$500 (a)}$   
\$500分が新デバイスへ引継ぎ可能



## ② 新デバイスの1ヵ月あたりのライセンス料を算出

算出方法:  $\text{引継ぎ可能なライセンス料} \div \text{新デバイスライセンス月額} = \text{割り当て可能期間}$

例: 新デバイスの年間ライセンス料が\$1,200/年の場合  
→  $\$1,200 \div 12\text{ヶ月} = \mathbf{\$100(b)}$

## ③ どのくらいの期間を割り当てられるか算出

算出方法:  $\text{引継ぎ可能なライセンス料} \div \text{新デバイスライセンス月額} = \text{割り当て可能期間}$

例:  $\mathbf{\$500 (a) \div \$100(b) = 5\text{ヶ月}}$

